



超メジャーな塗装メーカーから、質の高い塗装技術や豊富な実績を表彰されたことも(販売実績なんと全国4位!)。事務所内にも同社の塗装の表現力を象徴するようなサンプルがズラリと。

「自分が会社を設立したころ、業界内に浸透していたのは『他社より一円でも安く』という風潮でした。とにかく受注ありき、ダンピングの応酬です」
お客様への説明も最低限。あり得ない価格で工事を受注する業者も登場します。
「当然ながら、その工事は粗雑です。すぐに塗装が剥がれたり、水が漏れ

西村代表が取り組んだ塗装工事

は、従来の「安い早い」ではなく「適正価格でしっかり」というスタイル。
「まずは下地となる土壁やタイルなどの洗浄や研磨に時間をかけることからスタートしました。塗りの工程は業界で横行していた『一度塗り』から『三度塗り』に変更し、対応する塗装工の数も増やしました。塗料は吟味と厳選を重ね、特定のメーカーの高品質で高耐久性のものだけとしました。もちろんメンテナンスにも全身全霊で対応しました」
塗装工が念入りに塗り込んだ外壁は、美しくそして緻密。防水や防汚性等の機能面も飛躍的に高まります。もちろん耐久性も抜群です。
更に西村社長が尽力したのは、お客様への丁寧な説明。
「他社より高いといわれたら値段を下げるのではなく、塗料の原価、塗りの細心さ、工事の日数など、その理由をしっかりと伝えることにしました。工期が長いと言われたら、塗装工たちの本気度合いを見て判断いただくことにしたんです」
当初は価格だけを見ていたお客様も、その正直な対応に次第に納得するように。更に周囲から聞かせる「仕事が驚くほど丁寧」という同社の評判も追い風となり、倍々ゲームのように顧客が増えていきました。
「当初の現場は苦小牧が中心、しかし瞬く間に恵庭、千歳へと拡大していきました」



information

株式会社ニシムラ塗装

創業20年の経験と実績を持つ塗装のプロ集団。苦小牧を拠点に千歳や恵庭などで実績と信頼を重ねています。「塗装って楽しい!」そんな思いに共感したスタッフが集うことも知られています。

苦小牧市新富町1丁目4-2
TEL 0144-76-2075
<https://www.nishimura-tosou.com/>

「誠実な塗装を、丁寧な説明を」という西村社長の思いを地域に広めてくれたのが同社のスタッフたち。男女合わせて12名の社員が商談の場で塗装の現場で活躍しています。
「当初は戸惑ったようですが、この回り道が信頼される会社を作るということに共感してくれました」
転職してきた塗装工の中には塗装工程の多さに驚く人もいたとか。
「ただどの塗装工も上質な塗装、偽りのない技術を披露したいはずなんです。今は弊社の仕事の流儀や自分の技術に、自負を抱きながら働いています」
最近ではモルタル造形、エイジング表現など造形美を追求する塗装に挑戦するスタッフもいるとか。誠実さ



丁寧な仕事と対応力に定評がある塗装工

に表現力が加われば、まさに怖いものなはずです。
「お客様も増える一方なので、今後の課題はスタッフの確保ですね。週休二日、有給休暇の確保、年二回の賞与など福利厚生や待遇も充実の一途です。やりがいのある安定した仕事として、塗装の世界にチャレンジしてほしいですね」

イマドキ!

Imadoki! Business News

ビジネスニュース

**誠実な仕事、丁寧な対応で
悪しき常識を二刀両断!
塗装業界の風雲児「ニシムラ塗装」。**

構造物の外壁において、内部に浸入する水を防ぎ、紫外線の影響(劣化)を最小限に抑えるという重要な役割を担うのが「塗装」。苦小牧に拠点を置くニシムラ塗装は、この業界では後発の部類ながら右肩上がりの実績とユーザーからの高評価を獲得しています。躍進の理由を同社の西村代表に伺いました。

価格至上から品質至上へ。
志をもって企業を設立。

同社の設立は2003年。わずか数名でのスタートで、ビジネスの広がりも口コミや紹介にもかかわらず、現在の年商は4億円。道南エリアの建築塗装の分野においてトップクラスの実績を誇ります。

その理由を西村代表は「ひとえにお客様に対して、誠実であり続けたから」と語ります。

「自分が会社を設立したころ、業界内に浸透していたのは『他社より一円でも安く』という風潮でした。とにかく受注ありき、ダンピングの応酬です」

お客様への説明も最低限。あり得ない価格で工事を受注する業者も登場します。

「当然ながら、その工事は粗雑です。すぐに塗装が剥がれたり、水が漏れ



代表取締役 西村知行さん

出したりと、あつという間に外壁もボロボロの状況になっていました。そんな業者は保守対応もしませんから、お客様は結局泣き寝入りになっていたんです」
そんな不謹慎な対応はしたくない、正々堂々とビジネスに取り組みたい。そう考えたのが西村社長。
「このままでは業界の評判そのもの

プロの自負に加え、
アート感覚も生かせる塗装工。



塗装の仕事の魅力を若い人たちに伝えたい。そんな思いで塗装のボランティア等にも参加しているという西村代表。「社員を連れてリニアの日本領事館の外壁を塗り直したり、円山動物園の柵をペイントしたり」優しい笑顔の理由がよく分かります!